

令和8年度 各部経営方針

区経営方針（次頁のとおり）

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 政策経営部 | 12 都市整備部 |
| 2 総務部 | 13 まちづくり推進室 |
| 3 危機管理部 | 14 土木部 |
| 4 区民文化部 | 15 かわまちづくり担当部 |
| 5 産業経済部 | 16 会計管理室 |
| 6 健康生きがい部 | 17 教育委員会事務局 |
| 7 保健所 | 18 地域教育力担当部 |
| 8 福祉部 | 19 選挙管理委員会事務局 |
| 9 子ども家庭部 | 20 監査委員事務局 |
| 10 子ども家庭総合支援センター | 21 区議会事務局 |
| 11 資源環境部 | |

区 経 営 方 針

- No.1プラン 2028 の3つの戦略を通じて、誰もが健やかに暮らし続けられる環境整備や、多世代の「つながり」の場となる新たな居場所の創出、デジタル技術の活用や環境・災害対策、生涯活躍の共生社会の実現等について、創意工夫を図りながら、組織横断的に進めていきます。
- 老朽化が進む公共施設の更新需要や、駅周辺のまちづくり等の中長期的な課題に対応するとともに、区民生活や地域経済に影響する今日的課題に対して、柔軟性とスピード感を持って対応します。
- 経営戦略推進プランにおいては、デジタル技術や民間活力を活用し、生産性向上と業務最適化に取り組みます。また、情報発信の強化や公民連携を通じて新たな価値を創造する「共創」の取組を推進し、適正な収入確保と公共施設の機能連携・有効活用を進め、新たな区民ニーズへ対応する仕組みづくりに取り組みます。
- 人材戦略については、新たなビジョンのもと、職員一人ひとりが自分らしさをみがきながら、「もてなしの心と高い使命感」で職務に邁進するためのサポート体制の充実に取り組みます。また、誰もがやりがいをもって活躍できるよう、エンゲージメントの向上に向けた取組に着手します。

令和8年度 各部の経営方針

政策経営部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○No.1 プラン2028の初年度として、基本構想に掲げる新たな将来像を見据え、3つの戦略を着実に展開するとともに、創造都市にふさわしい成果をあげていきます。 ○社会経済情勢を的確に把握し、財政規律の徹底を図りながら、安定した区財政の維持に努めます。 ○これまで培ってきた絵本のまちを軸とした取組を土台に、全庁をあげて、発信力に磨きをかけ、創造都市を区内外に積極的にアピールします。 ○利用者の視点に立った、サービスデザインを基本に据え、DX による行政サービスの質の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○No.1プラン2028の計画事業の進行管理 ○財務事務における手続の適正運用と正確な会計処理 ○物価変動による部材等の価格に対する適切な対応 ○情報発信における、内容の充実と広報マインドの醸成 ○ユネスコ創造都市加盟を見据えた、戦略的な事業展開 ○自治体情報システムの標準化・共通化 ○施設整備における、機能展開の総合的なマネジメント ○環境に配慮した施設設計など、使い方を踏まえた施設整備
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設のファシリティマネジメントを着実に進め、公有財産の最適化と区民ニーズのバランスを見極め、持続可能な区政経営を行います。 ○区政の基盤となる仕組みづくりとして、働き方改革や、DX の推進に取り組むとともに、行政評価制度の再構築など、業務改革のサイクルを確立します。 ○新たな価値を共に創造する「共創」の取組を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営戦略推進プランに基づく、新たな区民ニーズに対応する仕組みづくり ○将来的な行政需要や行政課題、地域課題を見据えた、施設整備方針等策定 ○公共工事の適切な執行管理 ○ICT の利活用促進による、区民サービスの向上
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○共に創る「共創」の考えを浸透させ、視野の広い政策形成・立案のできる人材を育成します。 ○新しい技術や知見に積極的に触れることで、業務での気づきや、組織課題の発見につなげ、職員一人ひとりの課題解決力を高めます。 ○ワーク・ライフ・バランスを常に意識し、心身ともに健やかに職務に励むことができるよう、組織的に取り組んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民連携を通じた、積極的な外部との関係性の構築 ○外部研修のほか、各種アドバイザー等との共創を通じた人材育成 ○DX 人材をはじめとした、専門性を持つ職員の育成 ○職務知識の醸成による職員エンゲージメントの向上
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区民ニーズを的確に把握し、ウェルビーイングの高い福祉拠点の整備を進めます。 ○絵本のまちフェスタなどを通じて、板橋の魅力を再構築しながら、クリエイティブな発想で、区内外にその取組を積極的に発信します。 ○本庁舎北館再整備事業が円滑に進むよう、機能の配置調整や仮移転先の調整を図り、本庁舎周辺の変革に取り組みます。 		

総務部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○区の将来像の実現に向け、これからの区政を形づくる大切な一年であるとの認識のもと、「共創」の視点を持ってあらゆる取組を進めていきます。 ○適正な賦課徴収、人材の育成・確保等により区政を支える基盤を強化するとともに、No.1プラン 2028 の推進に貢献していきます。 ○職員間でビジョンを共有し、変化に的確に対応しながら、区政経営の機動性を高め、施策を着実に進めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○創造都市(クリエイティブシティ)としての強みにつなげる事業展開 ○人事施策の推進(人材活用、人材確保、人材育成等) ○賦課徴収の効率化・体制強化、キャッシュレス・オンライン手続の拡大 ○公契約条例制定、入札不調対策 ○本庁舎設備の最適な維持管理、本庁舎北館再整備事業への関与 ○区政情報のアクセス向上に向けた環境整備 ○いたばしアクティブプラン 2030 の推進
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○予定しているシステム更改、新規導入を契機にDXを進め、単なる効率化にとどまらず、業務のあり方そのものを見直して変革につなげていきます。 ○本庁舎周辺公共施設再編等の進捗を踏まえ、施設機能の充実に関する検討を深めるとともに、効果的な施策に資する施設のあり方を整理していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文書管理システム更改及び文書のデジタル化保存促進 ○eラーニング研修、人材マネジメントシステムの導入 ○本庁舎電話録音装置導入 ○自治体情報システム標準化運用開始(令和9年1月) ○公文書館・男女平等推進センターのあり方検討 ○健康経営の推進
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の主体性と意欲を引き出すため、対話と育成を大切にしながら、やりがいと誇りを高め、組織全体のエンゲージメントの向上を図ります。 ○ハラスメントのない職場づくりを進め、心理的安全性の高い、安心して働ける環境の整備に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○業務知識と専門スキルの向上 ○人材育成につながる人事評価制度の運用徹底 ○エンゲージメント向上の取組策の検討 ○ハラスメントのない職場づくり
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オフィスカジュアル(Itaビズ)の本格実施や、フリーアドレスの推進、本庁舎電話録音装置の導入によるカスハラ防止を進め、職員のウェルビーイング向上に取り組みます。 ○文書管理システムの更改及び既存文書のデジタル化を進め、ペーパーレス化にとどまらず、業務プロセス全体の変革を推進します。 ○行政文書や公文書のデジタル化と情報発信の強化により、歴史的価値のある資料の継承と郷土愛の醸成を図り、新たな時代の創造的な取組へとつなげます。 		

危機管理部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動による風水害の激甚化、首都直下地震発生の高まりといった課題に対し、実効性の高い全庁的な即応体制を構築するため、各種マニュアルを再整備し、応急体制を強化するとともに、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上につながる施策を展開します。 ○新たな基本構想の実現に向け、基本計画2035及びNo.1プラン2028の計画事業をはじめ、防災・減災対策及び防犯・治安対策の向上に組織一丸となって取り組むとともに、スピード感をもって対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地区別防災マニュアルの改定 ○福祉避難所の拡充及び連携強化 ○避難行動要支援体制の仕組みの強化 ○BCP 計画等災害対応各種マニュアルの点検・改定 ○新型インフルエンザ等対策行動計画の策定 ○地域の防災資器材の更新・拡充 ○区民の防犯対策及び特殊詐欺対策の啓発・推進
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○No.1プラン2028「経営戦略推進プラン」の理念を踏まえ、民間事業者や関係自治体等と連携し、『共創』の視点をもって災害対応力の強化を図ります。 ○防災・防犯分野におけるデジタル技術や民間活力を活用し、対策の推進を図るとともに、情報発信の強化に取り組めます。 ○防災・防犯に関する教育や訓練を地域や学校に普及し、区民一人ひとりの防災力・防犯力を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時における各種協定の実効性の確保 ○広域避難体制の仕組みの強化 ○水害への対応力強化に向けたタイムラインの整備 ○防災教育の推進 ○在宅避難の啓発・推進
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○職員一人ひとりが新たな課題や社会環境の変化に柔軟かつ積極的にチャレンジし、防災・防犯対策の強化にやりがいをもって活躍できるよう、組織をあげてエンゲージメントの向上に取り組めます。 ○防災・防犯などの啓発事業について、「伝える」ではなく「伝わる」を意識し、実践できる専門性の高い職員を育成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の意識改革を図るための防災訓練の検討と実施 ○防災・防犯情報の発信力の強化 ○職員間の連携強化 ○働き方改革の推進
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時における在宅避難を推進するため、家庭内備蓄の啓発・周知や建物の倒壊・火災等の被害軽減対策の推進、マンション防災の推進など組織横断的に取組を進めます。 ○避難行動要支援者対策について組織横断的に取組を推進します。 		

区民文化部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○基本構想、基本計画 2035、No.1 プラン2028の初年度として、地域や関連団体と協力しながら、創造都市(クリエイティブシティ)の実現をめざして、区政を推進します。 ○旧保健所跡地に整備する複合施設の基本設計にあたり、利用団体や区民の意見を聴きながら、進めます。 ○赤塚体育館の改修にあたり、赤塚地域のスポーツの拠点となるような施設を整備するため、基本設計・実施設計を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町会・自治会と地域の要となる地域センターの役割の充実 ○地域交流アプリ「結ネット」を活用した町会・自治会の加入率の増加 ○旧保健所跡地に整備する複合施設の基本設計の策定、ホール機能の検討 ○赤塚体育館改修の基本設計・実施設計の策定 ○赤塚体育館アリーナの拡張と武道場、バリアフリー環境の整備
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○栄町集会所と、文化会館地下に整備する施設を活用した、「新しい居場所」づくりに取り組みます。 ○職員の働き方改革を推進するため、戸籍住民課の窓口受付時間の短縮と、外国人に関する各種の届出や相談体制の整備を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間事業者と協働し、地域と密着した「居場所」の整備(栄町) ○若者世代を中心とした誰でも気軽に立ち寄れる「居場所」の整備(文化会館) ○外国人の転入に伴う各種手続きの効率化 ○外国人に関する課題を解決するための体制強化の検討
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○変化の激しい社会経済情勢に対応し、多様化・複雑化する様々な課題の解決に向けて、高い意欲と使命感を持つ職員の育成を図り、チャレンジする組織づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革によるワーク・ライフ・バランスの充実 ○昇任試験に対する意欲の醸成 ○業務改善を通じた人材育成の推進
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「つながりの居場所」「文化の居場所」の運営に関して、社会福祉団体や、教育委員会、子ども家庭部などと連携して取り組みます。 ○「絵本のまち」において、絵本に関する専門的な知見を持つ美術館が、協力して推進していきます。 		

産業経済部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢の変化に即した融資制度や幅広く実施する経営相談により、企業に寄り添います。 ○行政ポイントの活用の幅を広げ、「いたばしPay」の自立と地域通貨としての定着を進めます。 ○歴史や自然、伝統があるまちの魅力を区内外に発信します。 ○歴史ある板橋農業とその価値、さらに新たな農の魅力を伝えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業活性化センターや産業振興公社、産業振興課にて幅広く経営相談を実施 ○複数の部署で、地域課題の解決に向けた行政ポイントの活用を実施 ○「板橋区民まつり」や「いたばし花火大会」「農業まつり」などのイベントを含む区の魅力を積極的に発信 ○農業者の支援と農に関わる人材の育成と活躍できる機会の確保
改革	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者の現状、ニーズを把握しやすい体制を構築し、区産業発展に向けた事業者の持続的な成長を支援します。 ○地域課題の解決と新たなビジネスの創出に向けて積極的に取り組みます。 ○ものづくりや科学技術の楽しさ及び幅広い区内産業の魅力を、未来の産業界を担う次世代に伝えます。 ○区内企業、研究機関、支援団体などをつなぐハブの役割を強化します。 ○まちで人や事業者が交流することで生まれる魅力を伝えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生産性向上に資する設備導入助成事業やデジタル環境構築補助金など、持続的な成長をめざす事業者にとってニーズの高い事業を構築 ○スタートアップや区内企業、研究機関が共創し、社会実証、実装につながる丁寧な支援を実施 ○いたばし未来の発明王やいたばし産業見本市3日目(テクノロジープレイパーク)ほか、機会を捉え、事業者や研究機関の協力を得てイベントを実施 ○いたばし産業見本市やオプトフォーラムなど交流の機会を多く創出 ○ひととまちの魅力を伝え、区への愛着が生まれる板橋マニア2の作成
人材育成・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の意見を尊重し、これまでの考え方にとらわれない新しい発想で事業を展開できる職員を育成します。 ○個々の職員が、楽しみながら、やりがいを持って仕事ができる環境を整えます。 ○ワーク・ライフ・バランスを重視し、私生活と健康を安定させて全力で職務に取り組める職場づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心理的安全性を担保し、一人ひとりの職員から多様なアイデアが生まれることを期待できる管理監督職員の育成とマネジメント力の強化 ○個々の職員の発想を尊重し、風通しがよく気軽に相談ができ、能力を最大限発揮できる組織づくり ○自分自身と身近な人を大切にしつつ、お互いに声を掛け合い、協力して職務や課題に取り組める人材の育成
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちとひと、産業が新たな価値を創り出すしくみづくりに全力で挑み、創造都市(クリエイティブシティ)を実現します。 ○ひとの交流から生まれるまちの魅力を広げ、区民の愛着と誇りを高めることをめざします。 ○農地の保全に尽力しつつ、新たな農の価値を創造するとともに、そこに関わる人材が活躍できる場を確保します。 		

健康生きがい部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○いたばし健康プラン2030の初年度として、誰もが生涯を通じて生きがいを感じ、健やかで心豊かに生活する視点を踏まえ施策を積極展開します。 ○高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、時代の変化に合わせた、新たな高齢者福祉施策の展開と、持続可能な社会保障制度の運営に向けた方策を検討します。 ○高齢者を含む多様な世代が「健康」を軸に交流し、誰もが地域の一員として役割を持ち生涯活躍できる地域共生社会の具現化をめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いたばし健康プラン 2030(板橋区健康づくり 21 計画)の推進 ○(仮称)高齢者保健福祉・介護保険事業・認知症施策推進計画2029の策定 ○介護保険・国民健康保険・後期高齢者医療制度の持続可能な運営 ○避難行動要支援者名簿(高齢者)の実効性を高める管理手法の検討 ○地域人材・資源を活かした生涯活躍のまちづくりの具体的検討 ○人生充実の一環としての終活支援事業の内容検討と円滑な実施 ○原油価格不安定化等に起因する物価高への臨機応変な対応準備
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○令和8年度の組織改正の効果を最大限発揮するため、組織改正の趣旨を踏まえた安定的な組織運営を行うとともに、更なる事務事業の最適化・効率化及び DX 化の推進に取り組みます。 ○歳入の確保及び適切な予算執行を実践し、前例踏襲に陥ることなく、効率的かつ効果的に施策を推進します。 ○将来的な重層的支援体制の構築を見据え、広い視点からの情報を的確に共有することで、組織間の協力体制と連携意識の醸成を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢3課及び健康推進課・地域保健課の組織改正後の安定的な組織運営 ○組織改正後の事務事業の最適化・効率化 ○総合相談窓口の強化 ○介護保険事業におけるDX化の推進 ○各種保険料の収納率の向上 ○国民健康保険制度と後期高齢者医療制度の効率的な運用に向けた組織最適化 ○区民サービスの向上に資する窓口委託の検討 ○重層的支援体制の構築に向けた部門間連携のあり方検討
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○共に創る「共創」の考え方にに基づき、視野の広い政策形成・立案のできる人材を育成します。 ○職員に区政全体・他部門の動きの浸透を図るとともに、異なる意見や立場をお互いに尊重した施策推進体制を築き、働き続けたいと思える、職員エンゲージメントの高い職場づくりをめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いたばしブランド共創ビジョンの浸透・推進 ○住民主体の運営のサポートなど、共創を通じた人材育成 ○DX 人材をはじめとした、専門性を持つ職員の育成 ○担当業務の平準化とサポート体制の構築 ○区政の重要課題及び対応方針の積極的共有と部門間の相互理解の推進
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来へのかけ橋として、クリエイティブな視点からの共創や多世代交流を大切にし、地域の魅力を高める生涯活躍のまちづくりの検討を進めます。 ○だれもが充実したセカンドライフを送るとともに、安心して人生を終えられるよう、終活支援事業を実施します。 ○自然災害や感染症災害の発生時における、高齢者の見守りや避難支援に関する課題について、部門間連携のうえ体制のあり方を構築します。 		

保健所

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠期から産後の支援また父親支援にも積極的に取り組み、こども家庭センターとしても、更なる区民サービスの向上をめざします。 ○健康管理を支援するため各種健診・がん検診の受診率向上を図ります。 ○災害・感染症等への対応力強化に向けて、発生時の医療体制の整備を推進します。 ○自殺対策及び孤独・孤立対策の推進、また精神保健施策・自殺予防対策の充実を図ります。 ○安心・安全の確保とワンヘルスの推進、ウェルビーイングの基盤となる衛生環境を維持します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ウエルカムベビー講座の実施、父親へのメンタルヘルス支援を含む支援体制の強化、産後ケア事業の分かりやすい周知及び利用促進 ○妊娠期から子育て期まで切れ目のない伴走型支援の推進による、こども家庭センター機能の充実 ○対策型がん検診における精度管理の確保と、受診率の向上 ○大規模災害や感染症発生時に、必要な医療が迅速かつ的確に提供されるよう、関係機関との円滑な連携体制を構築、予防接種(定期・任意)の着実な実施 ○「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向けた、こども・若者が周囲に相談できる環境の整備と、孤独・孤立を軽減する取組の推進 ○医療・食品・環境の安心と安全の確保 ○動物との共生をめざしたワンヘルスの取組の推進
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたり、いきいきと健やかな健康づくりを推進します。 ○区内の人材や資源と協同した事業を展開します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTの活用による、区民が生涯にわたり健康で活躍できる生活習慣の定着と、それを支えるまちづくりの推進 ○複雑化・多様化する社会課題の解決に向けた、全庁横断的な連携による各施策と相乗効果を生み出す取組の推進
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○いたばしブランド共創ビジョンを理解し、「みんなにかけ橋」を実現していく職員を育成します。 ○健康危機に対応できる次世代の公衆衛生人材を育成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの健康管理に努め、向上意欲を持つ職員の育成 ○所属の部署を越えて、区民目線に立った事業運営ができる職員の育成 ○自らの専門性を高めるために学び続ける専門職の育成
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共創による地域課題の解決の推進: 健康づくり施策については、区内大学の有識者等と連携し、地域特性を踏まえた事業を推進するとともに、感染症対策においても区内事業所等と連携し、分かりやすい普及啓発を行います。 ○創造都市の確立と効果的な情報発信: 板橋区の特徴を活かすため、人と地域をつなげることを見据え、保健所の全ての課が連携し、絵本の活用等を通じて、こころの健康、ワンヘルスや薬剤耐性対策をはじめとする社会課題の解決に取り組みます。 		

福祉部(福祉事務所)

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○板橋区地域保健福祉計画 2030 に掲げる「共生のまちいたばし」の実現に向け、関係機関との連携を強化します。 ○ユニバーサルデザイン推進計画 2035 を着実に実施することで「だれもが心地よく暮らし、すごせるまち 板橋」の実現をめざします。 ○社会状況を踏まえ、生活困窮者や生活保護受給者に対する個別支援を継続的に実施するとともに、自立に向けた支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重層的支援体制整備事業の実施と充実策の検討 ○地域福祉コーディネーター設置地区拡大及び活動拠点整備 ○フードパントリーの拡大と更なる食支援の充実に向けての検討 ○子ども食堂の全小学校区への展開に向けた拡充 ○ユニバーサルデザインの全庁的な気運の醸成 ○最高裁判決による生活保護費の遡及支給の円滑な実施 ○生活保護世帯に向けたエアコン助成事業の実施 ○計画的な家庭訪問によるケースワークの適正化
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○区立福祉園等のあり方を検討し、障がい福祉サービスの提供方法の最適化をめざします。 ○運営法人や施設の適切な運営に資するよう、福祉部の指導体制を強化します。 ○DXの効果的な活用により、民生・児童委員やケースワーカーの業務等の迅速化、効率化、安全性の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○区立福祉園等の今後のあり方及びサービス最適化の検討 ○障がい施設の指導体制の強化 ○社会福祉施設等に対する指導検査業務システム(SDX)の導入 ○タブレット・クラウドツールによる民生・児童委員への活動支援 ○AI・クラウドツール・スマートフォンによるケースワークの質の向上
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○職員がいきいきと働きやすく、やりがいを持てる職場環境を構築します。 ○変化する区政課題の解決に向けて、変革意欲と課題解決能力を持ち、チャレンジ精神で課題に取り組む職員を育成します。 ○職員の資質向上とチームで支え合う組織風土を構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いを尊重し合い、改善意欲の高い職場環境の整備 ○OJTにより専門性が高く、チャレンジ精神を持った職員の育成 ○係長・査察指導員のマネジメントスキルの向上 ○チーム制によるサポート体制の構築 ○実務能力の向上による組織貢献意識の醸成 ○ワーク・ライフ・バランスの推進
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域でつながり支え合い、だれもが安心して暮らせる共生のまち いたばし」をめざし、地域福祉におけるウェルビーイングの実現に取り組みます。 ○AIの活用をはじめDXを推進することで、業務プロセスに変革を与え、福祉サービスの向上および職員の働き方改革に取り組みます。 		

子ども家庭部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○いたばし子ども・若者・子育て応援プラン 2030 に基づき、家庭的な子育てを大切にしつつ社会全体で支える取組を推進し、子どもとともに成長する喜びを実感できるよう、施策を展開します。 ○こども基本法に基づき、子どもの権利(生きる、育つ、守られる、参加する)を尊重し、最善の利益を考えて施策を推進します。 ○児童・保育施設において創造的な活動を取り入れ、子どもの非認知能力や自主性をはぐくむ環境を整えるなど、学びや体験・経験を次世代へつないでいく子育ての循環に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育所において再び増加している待機児童への緊急対策 ○令和8年度から開始した乳児等通園支援事業の円滑な実施 ○公立・私立保育園での医療的ケア児の受入れ拡大 ○ヤングケアラーの実態把握及び個別支援体制の確立 ○社会的養護経験者への経済的支援と相談支援の拡充 ○児童館・保育所における遊びや体験を通じた非認知能力のはぐくみ ○児童館における絵本による子育てと多世代交流の推進 ○子どもの声を聴く仕組みの多様化
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもや子育て家庭が安心して過ごせる居場所の充実など、児童福祉・母子保健・教育部門が組織横断的に連携して取り組みます。 ○トランスフォーメーションの視点を持ち、民間活力との共創によって、子育てサービスの向上と事務の効率化をめざします。 ○子ども・若者・子育て支援の全体像を再整理し、区民にとって分かりやすい情報発信に努めるとともに、変化の激しい制度改正などへ迅速かつ柔軟に対応できる組織体制をめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童館CAP' Sの相談機能充実と新しい児童館の検討 ○こども家庭センター機能の充実 ○児童館・区立保育園におけるDXの推進 ○民間保育施設への巡回指導強化による保育の質の向上 ○子どもの手当医療係窓口の委託化拡大 ○すくすくカードの電子化及び事業のブラッシュアップ推進 ○区立保育園の再整備及び民営化等計画の検討 ○社会・制度の変化に対応できる子ども預かり施策の組織最適化
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○板橋区で働く魅力を発信する効果的な広報と的確な人事管理によって、公民を問わず、福祉人材の確保と定着を図ります。 ○子ども・若者分野に限らず、区政全体に関心を持ち、区への自発的な貢献意欲とエンゲージメントが高まる職場づくりに努めます。 ○ボトムアップ型意思決定を重視し、職員の持つ力を引き出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公立・私立保育園の人材確保策の展開 ○区内児童福祉施設における日本版DBSの円滑な導入・実施 ○区政の重要課題及び対応の方向性の積極的な共有 ○意見を促すことで自ら課題意識を持ち成長できる職員の育成 ○区立保育園・児童館・子ども家庭総合支援センター間の交流研修の実施
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユネスコの創造都市ネットワーク加盟を見据え、創造都市(クリエイティブシティ)の未来を担う子育ての場づくりと子育て施策のわかりやすい・魅力的な広報に取り組みます。 ○ 公立・私立の児童・保育施設が策定した新たなBCPに基づき、首都直下地震発災時の具体的な初動対応の流れを再確認し、子どもの安心・安全へとつなげます。 		

子ども家庭総合支援センター

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども・家庭、地域の子育て機能の総合支援拠点として、関係機関との緊密な連携による相談援助活動に取り組みます。 ○子どもが有するニーズ、問題などを的確に捉え、子ども・家庭への適切な援助を行い、子どもの権利擁護と福祉の向上を図ります。 ○子どもの安心・安全な生活と健やかな成育を守るため、予防、未然防止を重視した児童虐待防止対策に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援課・援助課・保護課の協働による業務執行 ○子ども、家庭、地域への児童虐待防止に係る啓発活動 ○関係機関との緊密な連携による、心配な子ども・家庭の早期発見・早期支援（要保護児童対策地域協議会の活性化・民間団体等との協力） ○里親制度の普及啓発と里親養育包括支援の推進 ○社会的養護関係施設との連携推進による施設入所児童への支援強化 ○ユニット制を活かした温かみがあり居心地のよい一時保護施設の運営 ○子ども・家庭に関わる法的問題解決の推進
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠期から子育て期まで切れ目のない子ども・家庭支援に取り組みます。 ○子どもの安全と最善の利益を最優先に考慮するとともに、子どもの意見・意向を尊重した援助に取り組みます。 ○子ども家庭相談における DX を推進するとともに、適切な情報発信に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○こども家庭センター機能(母子保健と児童福祉の一体的支援)の強化 ○子育て支援サービスの利用促進(効果的な周知、DX推進) ○子どもが意見・意向を表明しやすい体制(アドボケイトの浸透) ○アウトリーチによる相談援助活動の実施 ○親子関係に係る相談等に対する対応 ○児童相談システムの導入による効率的運営
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○「子どもの権利擁護」を基本理念とし、職員の資質向上と人材育成に取り組みます。 ○子ども・家庭に関わる相談援助に必要な知識・技術・態度をもって相談援助活動に取り組む専門性の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの権利擁護を中心に据えて相談援助活動を行う人材の育成 ○「もてなしの心」で寄り添い、子どもの安心・安全を守る使命感を持ち、区が児童相談所を運営することの意義を意識して業務にチャレンジする職員の育成 ○子家総人材確保・育成基本方針に基づいた研修及びOJTの実施・充実 ○福祉職や他区職員との交流研修等、持続可能な人材育成 ○職員の心身の健康保持・増進

*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか

○子どもたちが人と人との温かな触れ合いを感じ、大人や社会と優しくつながることができるよう、民間団体を含めた幅広い関係機関との緊密な連携・ネットワーク化を推進し、こども家庭センター機能と児童相談所機能を一体的に運営する相談援助体制を構築し、児童虐待の予防・未然防止、在宅支援や家庭養育の推進等に取り組みます。

○「誰もが安心・安全に子育て・子育てできるまち」をめざして、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を強化するため、子育て支援サービスの拡充とともに、区民に分かりやすく利用しやすい情報発信や周知に取り組みます。

資源環境部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○板橋区環境基本計画 2035 に掲げる6つの目標達成に向け、区とともに区民・事業者が主体となる環境まちづくりに取り組みます。 ○「人と環境が共生する循環型都市」を実現するための取組を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いたばしエコポイント事業・板橋エコアクション事業の推進 ○エコポリスセンターを中心とした環境教育の推進 ○プラスチック等資源ごみの分別回収の推進 ○ボトル to ボトル(資源回収したボトルを新しいボトルに再生)の取組 ○資源循環推進情報統一デザインの整備 ○生ごみ減量プログラムの実施(3きりチャレンジキャンペーン)
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な環境社会の構築をめざし、区民・学校・事業者等との連携を高め、新たな価値を創り上げます。 ○ICT・DXの活用を含め、各種業務について効率化・合理化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な環境社会の構築に向けた官民連携 ○エコポリスセンターと区立小学校との協働事業 ○化学物質 PFOS 等の地下水水質調査・分析 ○清掃事務所のあり方の検討 ○DX を活用した効率的な清掃事業の実施 ○公衆喫煙所の整備に向けた検討
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○常に高いモラルとコンプライアンス意識をもって行動します。 ○職員のエンゲージメント(仕事への意欲・愛着)向上に取り組み、ウェルビーイング(職員の幸福度)を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員一人ひとりの資質向上、モラル・コンプライアンス意識の醸成 ○課・所・係内の情報共有、スキル(知識及び経験)の継承(OJTを含む)、他部署との連携など、組織力向上への取組 ○組織のめざすべき方向性と各職員の役割を共有・浸透
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区施設への再生可能エネルギー導入やLED 照明導入など、ゼロカーボンシティの実現に向けた庁内連携の取組を推進します。 ○環境まちづくりや循環型社会に関する「いたばしブランド」に共感し、主体的に行動する「環境人づくり」を進めます。 ○「板橋区らしいスマートシティ」の実現に向けた高島平地域における取組を推進します。 		

都市整備部

	経営方針	重点目標
施策	<p>○No.1実現プラン 2028 における、3つの視点(ひと・まち・みらい)から「ウェルビーイング戦略」、「クリエイティブ戦略」、「トランスフォーメーション戦略」を取り組むことで、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための「都市づくり」、区民の生命、健康及び財産の保護を図るための「建物づくり」、だれもが安心して暮らせる良好な居住環境の形成を図るための「住まいづくり」を推進します。</p>	<p>○板橋区都市づくりビジョンの推進(小竹向原駅周辺のまちづくりの検討) ○板橋区都市づくり推進条例(大規模土地取引の協議・調整及び条例改正) ○交通政策・都市基盤整備の推進(公共交通サービスの維持改善に向けての取組、工業専用地域(新河岸・舟渡地区)の土地利用・都市基盤に係る基礎調査、鉄道駅可動式ホーム柵整備促進、東武東上線立体化促進に向けたまちづくりの支援、自動運転バス導入に向けての調査・検討) ○都市基盤 DX の推進 ○地域の個性を活かした良好なまちなみ景観づくり ○特定開発行為許可及び開発許可による無電柱化の推進 ○がけ・擁壁防災対策方針の策定 ○倒れない・燃え広がらないまちづくりの推進 ○板橋区住まいの未来ビジョンの推進 ○マンション適正管理の推進</p>
経営戦略	<p>○「経営資源の最適化」を図るため、区の住宅施設のあるべき姿を追求・検証しつつ、住宅施設の再編整備と適正な管理・運営を推進します。 ○窓口での区民サービスの向上に向けたDX戦略を推進します。</p>	<p>○区営住宅等の適正な維持管理、区営住宅・区立高齢者住宅の集約化 ○建築情報案内システムによる効率的な窓口サービスの推進</p>
人材戦略	<p>○区政経営の質を高め、的確な区民サービスを実現していく人づくり、組織づくりを推進していきます。 特に建設系技術職員(建築職、土木造園職、機械職、電気職)の高度な技術等に対応した知識・能力の向上など専門的な人材の育成や意識改革につながる取組を推進します。</p>	<p>○専門性の高い人材の育成と活用 ○施策・組織横断的な取組に挑戦する職員の育成 ○三現主義の徹底を図り、住民のニーズに的確に対応できる職員の育成 ○あいさつ運動推進と段取り力向上により生産性の高い職場づくり ○職員のエンゲージメント向上のためのクロスメンター制度の推進</p>
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <p>◆ウェルビーイング戦略 ○区営住宅の整備</p> <p>◆クリエイティブ戦略 ○小竹向原駅周辺のまちづくり ○東武東上線立体化促進</p> <p>◆トランスフォーメーション戦略 ○工業専用地域(新河岸・舟渡地区)の土地利用・都市基盤に係る基礎調査 ○公共交通の機能向上と整備促進</p> <p>◆創造都市に資する取組 ○「板橋区都市づくりビジョン(地域の価値を最大化する板橋都市デザイン)」の推進</p>		

まちづくり推進室

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○「身近な暮らしの中でこころの豊かさを感じる魅力にあふれるまち」にチャレンジし、駅周辺や商店街などにおいて、緑豊かでウォーカブルな空間によって多様な人々が交流し、居心地の良いにぎわいのある魅力的なまちの実現を、様々な主体と「共創」してめざしていきます。 ○「地域で支え合い安心・安全に暮らせるまち」にチャレンジし、燃え広がらないまちづくりのために、不燃化を促進し、災害に強く、安全で快適な暮らしの実現をめざしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大山駅周辺地区まちづくり事業の促進 ○板橋駅周辺地区まちづくり事業の促進 ○上板橋駅南口駅前地区まちづくり事業の促進 ○高島平地域まちづくり事業の推進 ○東武東上線立体化(大山駅)・沿線まちづくり(中板橋駅～ときわ台駅～上板橋駅)の促進 ○大谷ロー丁目周辺地区不燃化まちづくりの推進
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○区民が「誰もが幸せを実感している」、「つながりと愛着がはぐくまれている」意識を持てるまちづくりのために、公民連携のエリアマネジメントを的確な業務執行体制の構築のもと推進していきます。 ○「クリエイティブ戦略」では、まちの完成予想3D画像や人流データ等を活用することで、視覚効果による合意形成促進と根拠に基づく事業の展開と取組、まちづくりの意義や効果の発信を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リスクマネジメント(内部統制)の推進 ○各地区のまちづくりにおける、地域資源・特性を活かした公民連携エリアマネジメントの取組 ○公民連携によるまちづくりイベント等による「共創」意識の醸成 ○まちづくり事業の情報・魅力発信の強化 ○まちづくり事業推進三部室連携会議の効果的運用・活用
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○職員一人ひとりが自分らしさのみがき、専門性を育み、「もてなしの心と高い使命感」で職務に邁進し、様々な課題への対応力の高い組織体制やサポート体制を構築します。 ○まちづくりへの自覚とやりがいを持って多様なまちづくりのシーンで活躍できるような組織と職員個人とのエンゲージメントの向上に取り組んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民が連携して共創関係を確立できる組織の構築 ○まちづくりへの高い使命感とやりがいを持ち、専門性を駆使して、新たなまちの価値創造にチャレンジできる人材の育成 ○まちづくり推進室に所属する各課の情報共有化を図る機会を定期的に設け、同時並行する各まちづくり事例の横展開
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりで創出された広場、道路等の公共施設等を活用した公民連携エリアマネジメントにより、イベントや維持管理を通じて共創意識を醸成していきます。 ○各まちづくりにおいて、新たな駅前広場などに緑豊かな空間を整備することによって、区民の心身の充実と幸福感、未来への価値創造へつなげていきます。 ○高島平地域のまちづくりでは UR 都市機構との協働により、自然・歴史・文化などを踏まえて、新たな魅力創造に向けたまちづくりの計画を進めていきます。 ○板橋駅西口周辺地区に関しては駅前広場の形状が変更されることから、3D都市モデルを製作し、地域住民の不安解消や合意形成に向けて取り組んでいきます。 		

土木部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○「時代の先を見据えた魅力的なまちづくり」に、組織横断的に取り組み、足元から支えます。 ○「災害に強いまちづくり」に、ハード・ソフトの両面から取り組み、頻発する豪雨等の自然災害から、区民の暮らしを守ります。 ○令和8年度を初年度とするNo.1プラン2028に掲げた実施計画事業を確実に進め、「安心・安全で暮らしやすいまちづくり」に貢献します。 ○道路・橋りょう・公園・自転車駐車場などの土木インフラを適切に管理し、良好な状態で維持・更新します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「高島平緑地(高島平九丁目地区)基本計画」策定に向けた社会実験の実施 ○エリアマネジメントを見据えたまちづくりの具現化に向けたサポート ○「都市型水害に備えた水防体制」「降雪を予測した除雪体制」による対策実施 ○都市基盤の強化に向けた都市計画道路の整備推進、無電柱化の推進、路面下空洞調査の実施と対策 ○自転車通行空間の整備・拡充、公園と水遊び施設のリニューアル、公園・公衆トイレのユニバーサルデザイン化・洋式化の推進 ○新たな価値を付加し、安全に配慮した土木インフラのリニューアル・長寿命化の推進
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○設計・施工・運営管理を一体的に実施する新手法で、公園を整備します。 ○公共施設の跡地活用を進めます。 ○土木インフラの管理や、工事・設計の発注方法などについて、不断の見直しを行い、業務改善にチャレンジします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力とにぎわいにあふれる板橋公園の再整備 ○かわまちづくり、史跡公園整備に向けた技術的・専門的なバックアップ ○旧中央図書館跡地の整備に向けた基本計画の策定 ○石神井川通行空間の保全構想の策定 ○ボール遊びができる公園、花火ができる公園の拡充
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○「もてなしの心」と「高い使命感」で、「未来への責任を果たす」ことのできる職員を育成します。 ○「デジタル技術を活用した課題解決」や、「生産性の向上」に取り組むことのできる職員を育成し、皆の力を合わせて創造的な組織をつくります。 ○土木行政を支えるための専門的な知識・能力を持つ職員を育成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○EQ(感情的知性)を磨き、困難なハードルをポジティブ志向で乗り越え、まちをハード・ソフトの両面で変えることのできる人材の育成 ○新たな挑戦に取り組む意欲にあふれたクリエイティブな人材の育成と、個人と組織がともに成長できるエンゲージメントの高い職場づくり ○現場に足を運び、現物を見て、そこで起きている現象を「学び」「ふり返り」「次に活かす」ことのできる人材の育成(持続可能な三現主義の徹底)
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「旧中央図書館跡地の活用」「史跡公園整備」「板橋公園の再整備」では、区民との協働などで多様な価値を共創し、地域の魅力と創造性を高めることに貢献します。 ○「自転車通行空間整備」「橋りょう長寿命化の推進」「区道補修」「公園改修・機能向上」では、環境・防災対策やデジタル化を通じ、社会変革(DX・GX)を促進します。 ○「板橋公園の再整備」では、サステナブルでレジリエントな計画・設計、管理・運営が求められる SITES 認証をめざし、創造都市(クリエイティブシティ)にふさわしい公園を創造します。 		

かわまちづくり担当部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○かわまちづくりの推進にともない、新基本構想の将来像を河川敷から具体化できるよう、国土交通省と連携しつつ、積極的かつ着実に事業の進捗を図ります。 ○「災害に強いまち」と「にぎわい創出」の2つの軸を基本とし、新たな魅力となるランドスケープデザインにより、河川敷を板橋区のブランドとして、創造・発信します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省と円滑な連携による、効果的なプロムナードの整備実施 ○板橋らしい河川敷へ、ランドスケープデザインを取り入れた施設等の配置 ○各エリアの特徴を活かした取組の具体化に向けた基本設計の実施 ○かわまちづくりの周知・機運醸成に向けた、効果的な広報及び情報発信 ○取組推進により、「共創」の視点で新たな発想と戦略的な施策を展開
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○公民連携に向けて、双方の強みやノウハウを活かし、新たな価値の創造・サービスの質の向上に向け、整備・取組内容を具体化します。 ○業務推進に向け、組織横断的な連携とともに、かわまちづくりを戦略的に、後戻りのない体制づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間活力の導入につながる事業手法の決定と公募条件の整理 ○ステークホルダーとの共創による新たな事業展開で、区の魅力発信を強化 ○「かわまちづくり」を契機にした、庁内組織横断的な課題解決手法の率先垂範 ○国土交通省との連携強化による効率的な整備体制の構築
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○区政経営に貢献できる、次世代の担い手づくりのため、事務職、技術職の垣根を超えた、幅広い視野を持った職員を育成します。 ○職務遂行により、職員一人ひとりが自分らしさをみがきつつ、「もてなしの心と高い使命感」で職務に邁進する体制づくりに取り組みます。 ○誰もがやりがいをもって活躍でき、エンゲージメントの向上を実感できる職場環境をつくります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○あらゆる関係者との連携を通じ、経験のない分野における専門知識の習得 ○区を代表する事業を通じ、責任感とチャレンジ精神の醸成 ○分野横断的な取組により、革新的で協調性のある人材の育成とサポート体制の充実 ○円滑なコミュニケーションによるエンゲージメント向上に向けた取組
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ウェルビーイング戦略」“ひと”の視点では、河川敷が多世代で訪れたい空間づくりを進めます。 ○「クリエイティブ戦略」“まち”の視点では、板橋の貴重な地域資源である荒川の歴史や背景も踏まえ、多様な主体と連携し、河川敷から新たな価値を創出します。 ○「トランスフォーメーション戦略」“みらい”の視点では、かわまちづくりを進める新たな“しくみ”づくりから、河川空間だけではなく、まち空間と連携することで、社会変革をもたらす、課題解決に取り組みます。【社会変革(DX・GX・SX)による区民生活の質の向上と、GX(グリーン・トランスフォーメーション)を包括できるよう取組を推進】 ○創造都市の視点では、新しい時代にふさわしい未来をデザインする区のまちづくりの一環として、新たな河川敷を多様な主体とともに創りあげ、つながりと愛着がはぐくまれる空間となるよう、整備・取組を推進します。 		

会計管理室

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○区の会計機関として、納税者である区民の信頼に応えるよう、適切な会計処理に尽力します。 ○各部署における物価高対策や地域経済活性化等の事業が円滑に実施できるよう、金銭出納の側面から支えます。 ○単式簿記・現金主義会計の予算・決算制度を補完するものとして、複式簿記・発生主義に基づく財務諸表を作成し、区民への説明責任を果たします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○収入、支出の状況把握による歳計現金の管理を徹底 ○事業効果が発揮できる迅速な予算執行体制を構築 ○令和7年度決算を補完する資料である財務諸表を作成し、区の財務状況を多角的に周知
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的な会計事務のあり方を検討していきます。 ○財政計画と連動した資金運用を行い、運用益の最大化をめざします。 ○備品管理の一層の効率化・適正化を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○財務システムの再構築に向けた、運用方法の検討 ○金利の動向に注視し、安全性、流動性、効率性を踏まえた資金運用の実践 ○基金の債券運用に関し、SDGs未来都市としてローカライズを推進していくための、SDGs 債購入による投資表明 ○備品の管理状況を把握した、効率的な運用
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○OJT(職場内研修)を中心として、会計事務の知識、スキルの向上に努めます。 ○法令・規則等に則る会計事務の知識やスキルを庁内の職員に広く伝え、全庁的なコンプライアンス意識の向上と適切な会計処理を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係法令・規則等の内容確認はもとより、常日頃から適切な会計処理、公金を扱う責任を意識した業務対応 ○コミュニケーションによる組織貢献意識の醸成
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金利情勢を捉えた資金の効果的な運用により、税外収入を最大限確保し、財産を増額させ、計画事業の円滑な実施につなげます。 ○DXの観点から会計処理の正確性・効率化を検討します。 		

教育委員会事務局

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○「MIRAI SCHOOL いたばし 教育ビジョン 2035」等の計画を実行フェーズへ移行し、誰一人取り残さない多様な学びの場を整えます。 ○「MIRAI SCHOOL いたばし」のブランド化を強力的に推進し、児童生徒のウェルビーイング向上を念頭に置いた教育施策を展開します。 ○個別最適な学びや探究的な学習等の先進的な手法を導入し、多様な特性を持つ子どもたちが幸せを実感できる教育環境を構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな教育ビジョン等の現場や区民及び地域への着実な浸透 ○多様な背景・特性を持つ児童生徒に対する個別最適な学びの保障 ○探究的な学習や異年齢交流等による、個別最適で協働的な学びの高度化 ○不登校児童生徒など誰もが安心して学べる学びの選択肢の拡充 ○外国籍並びに特別な支援を要する児童生徒等に対する包摂的な支援の充実
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域・行政が一体となった「共創」の仕組みを深化させ、持続可能で魅力ある教育基盤を構築します。 ○データやエビデンスに基づく教育施策の立案・検証サイクルを確立し、「MIRAI SCHOOL いたばし」の価値を区内外へ戦略的に発信します。 ○教育行政におけるコンプライアンスの徹底と、適正かつ強固な組織ガバナンス体制を確立します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな教育ビジョンで掲げる理念(5つのチカラ等)の学校現場等への浸透 ○多様な地域資源や専門人材の学校教育・放課後対策事業への積極的導入 ○地域社会全体で子どもを育む共創体制の構築 ○補助金交付事務の厳格化や委託業務の履行確認の徹底 ○事務局及び学校現場における適正な業務執行体制の定着
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○「MIRAI SCHOOL いたばし」を牽引するため、教育委員会事務局職員の政策立案能力とプロジェクト推進力を高める人材育成を強化します。 ○事務局内のDXと業務見直しを推進し、職員がより高度な企画立案や学校支援に注力できる環境を整備します。 ○学校施設の改築等、長期的な教育課題に対応するため、関係部局と連携した人材の確保と計画的な育成を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織横断的事業等への参画による、前例にとらわれない発想や企画力の育成 ○定型業務のデジタル化やフローの最適化による、業務効率性の追求 ○時間外勤務縮減など事務局職員の働き方改革の実現 ○安心・安全な学習環境の基盤となる学校施設長寿命化計画の確実な執行 ○建築職等技術系専門人材の確保及び育成・連携体制の強化
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な特性や背景を持つ子どもたちが安心して学べるインクルーシブな教育環境の整備と、異年齢交流や地域人材との関わりを通じた、ユネスコスクールの充実など、多様な他者との接点創出による、児童生徒のウェルビーイングの向上をめざします。 ○ICTを基盤とした個別最適な学習環境(DX)の整備推進と、学校施設を地域の創造的な交流拠点として複合化・長寿命化すること等による、地域課題を共創で解決する持続可能な仕組みを構築します。 		

地域教育力担当部

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○「MIRAI SCHOOL いたばし」の理念と創造都市の視点を融合させ、地域と共創して地域教育力を最大化し、地域全体を学びの場に広げます。 ○学校、家庭、地域の連携・協働を深化させ、地域全体で学びを支え、多様な体験機会や安心できる居場所を創出する環境整備を推進します。 ○デジタル技術を活用した学びを展開し、誰もが参画し挑戦できる包摂的で創造的な学習環境を実現します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○成増生涯学習センターの改修に向けた学びと交流が生まれる施設設計 ○教育科学館における創造的拠点としての再整備方針の策定 ○創造都市の理念を踏まえた板橋区史跡公園の整備 ○あいキッズにおける新たな事業展開と居場所づくりの推進 ○学校図書館の地域開放による子どもたちが本に触れる機会の創出 ○板橋グリーンカレッジ及びあいキッズ事業等におけるDX推進
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○施策を横断する実施体制の構築とともに、資源配分と成果検証を一体化し、絵本文化の推進等を通じ創造的な学びの質と効果を最大化します。 ○地域人材等との連携を進め、学びと地域社会を接続するコーディネート機能を強化し、実践的な学習機会を拡充します。 ○デジタル基盤と人材投資を重点化し、データに基づく意思決定により業務改善を継続することで価値の創出を加速します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「MIRAI SCHOOL いたばし(5つのチカラ等)」の理念と連動した事業展開 ○絵本のプレゼント事業を通じた「絵本のまち板橋」の推進や家庭読書の形成 ○あいキッズでの総合コーディネート機能の導入による体験・交流活動の促進 ○ジュニアリーダーとあいキッズ事業の連携による地域人材の基盤形成 ○板橋区史跡公園の整備に向けたデジタルミュージアムの戦略的な構築 ○事業ごとのKPI設定による検証・改善を繰り返すPDCAの高速化
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○「MIRAI SCHOOL いたばし」の理念や取組を効果的に伝え、地域教育力を高める広報戦略を担う、発信力を備えた人材を育成します。 ○改革視点を重視し、既存業務の見直しとデジタル活用を進めることで、新たな学びを創出できる実行力のある人材戦略を展開します。 ○職員の主体性と成長を促す人材育成と対話型マネジメントを推進し、相互信頼とやりがいを高め、組織内でのエンゲージメントの向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報研修や実践機会による職員が自らの業務の魅力伝える力の強化 ○拡散力強化に向けたSNSの特性の理解や主体的に運営できる力の育成 ○業務改善や新規事業提案を促す仕組みの整備による組織全体の変革力の向上 ○データの収集・分析による問題発見や新たな価値を見出す力の育成 ○定期的な対話面談の実施による信頼関係の構築及びモチベーションの向上 ○挑戦を評価する仕組みづくりによる職員の主体的な行動と成長の支援
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校や地域と連携・協働し、多様な子ども一人ひとりに応じた新たな居場所を創出します。 ○学びと居場所を一体的に提供し、学校と家庭をつなぐ支援体制の強化により、子どもたちが安心して成長できる環境を整えます。 ○学校の地域開放を推進し、地域住民の学びと交流の拠点としての施設機能の拡充と学習環境を変革します。 ○まちづくりと連動させ、社会教育施設及び板橋区史跡公園の整備を通じ、学びと創造的活動が融合する拠点を形成します。 		

選挙管理委員会事務局

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○板橋区議会議員選挙、板橋区長選挙の執行に向けて万全の準備を行い、公正な執行に努めます。 ○選挙制度の周知や投票の喚起など、投票率向上に向けた区民の行動変容を図ります。 ○自治体情報システムの標準化・共通化に係る選挙システムの円滑な移行を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板橋区議会議員選挙及び板橋区長選挙の準備と適正な執行管理 ○投票率向上に向けた選挙啓発活動の取組強化 ○選挙システム標準化の着実な実施
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○前例踏襲に陥ることなく、振り返りと確認、事故事例の検証を励行し、ミスのない選挙管理と執行を実践します。 ○誰もが投票しやすい投票環境の向上に継続して取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○選挙の管理・執行においてミスは許されないという志を全職員へ徹底 ○現状に対する問題意識を持ち続け、より良い業務執行を目指した業務改善 ○将来を見据えつつ、適切な執行体制及び投票所の検討
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○選挙に関する職員のスキルや専門性の向上を図り、ナレッジ共有と後継者育成につなげていきます。 ○事務事業の執行にあたって適切な助言と支援を心がけ、職員一人ひとりがやりがいと達成感を実感できるように努めます。 ○ワーク・ライフ・バランスを意識し、心身ともに健やかに職務に励むことができるよう、声掛けや相談を組織的に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○OJT および実践を通じた課題対応力の向上・継承 ○チームワークと組織力の向上、サポート体制の構築 ○人事評価制度の人材育成としての実践
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公正・公平な選挙執行により、有権者の政治及び選挙への関心を高め、より多くの意見が政治へ反映されるよう努めます。 ○投票意識の高揚や投票利便性の向上に取り組み、区民の選挙制度への信頼をより高めます。 		

監査委員事務局

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの事業が法令等に則り、誤りなく実施されているかはもとより、区政の経営目標の達成を阻害するリスクであるかの視点でも監査を実施します。 ○限りある経営資源を経済的かつ効率的に使用し、住民ニーズに合った事務事業、サービスを有効に実施・提供しているかの観点からも監査を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○誤りを指摘するだけでなく、再発防止を主眼とする監査の実施 ○合規性、正確性に留まらない、3E(経済性・効率性・有効性)に着目した監査の展開 ○リスクを識別し、内部統制に依拠した監査の実施
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○リスクアプローチ手法をさらに具体化し、限りある人的資源と時間をリスクの高い分野に集中させます。 ○AI等を活用した監査のDX改革に引き続き取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リスクの整理を行い、個別の事務に係るリスクマップを作成し活用 ○監査委員と書記によるタブレット端末を活用した情報共有と活用 ○官民を問わない監査手法等の研究
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○監査委員を支える書記が、誤りをチェックするだけの監査事務の作業者ととどまるのではなく、監査対象事務から自立的に課題を抽出し、仮説を立て、監査に必要な情報を整理できるようになります。 ○「大きく構想し、小さく始め、早く失敗し、そこから素早く学ぶ」というプロセスを実行できる職員の育成に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会課題、区政課題を問わず、あらゆる時事問題等の探求の場として朝礼を活用 ○AI等新しいテクノロジーの業務への活用模索・奨励
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <p>○監査時に法令違反や事務の誤りの指摘にとどまらず、監査対象課が有する背景の理解に努め、当該事業の中の、創造都市(クリエイティブシティ)の実現を阻害するリスクを指摘することにも注力します。</p>		

区議会事務局

	経営方針	重点目標
施策	<ul style="list-style-type: none"> ○区民生活の支援のため、執行機関の提案に対し、公正・公平で円滑かつ効率的な議会運営を行います。 ○議会と執行機関が区政発展のために、建設的な議論ができる環境づくりを行います。 ○統一地方選挙後に新しい議会を速やかに立ち上げるため、議員任期の最終年の締めくくりを行うとともに、万全な準備を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○区民の代弁者たる議員及び執行機関との信頼関係の構築 ○議員と執行機関への適宜適切な情報提供 ○議員提出議案の作成支援 ○区議会事務局の防災対応力の強化 ○統一地方選挙後の準備検討
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○円滑な議会運営のため、議会基本条例に基づく議会改革を進めます。 ○区議会活動の周知のため、情報発信の改善に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○業務の効率化とペーパーレス化を図る議会の DX 化を本格稼働 ○区民ニーズをとらえた次期特別委員会のテーマの設定 ○議会の情報発信の強化
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え、積極的に行動できる職員を育成します。 ○区政を俯瞰して見ることのできる職員を育成します。 ○エンゲージメントを意識した風通しの良い職場を作ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○OJT や相談を通じた事務局内のコミュニケーションの充実 ○議案や議会報告事項を通じた区政運営の把握 ○職員が同じ方向を向いて仕事をするための局内の情報共有の徹底 ○区議会事務局の役割を理解するための研修会の実施
<p>*No.1プラン 2028 に掲げた3つの戦略の組織横断的な取組、創造都市(クリエイティブシティ)に資する取組ほか</p> <p>○議会の DX 化を本格稼働させます。実施にあたっては区長部局と連携し、議会提出資料の提出方法等の見直しを行うなど、議員、区長部局及び事務局の負担軽減を図るとともに、ペーパーレス化を一層推進します。</p>		